

市民と議会の集い (語ってみゅーか)

と き 平成20年5月12日(月)、13日(火) 午後7時00分

<会次第>

開会あいさつ 班 長 19:00

議会報告 19:05

平成20年3月定例議会を終えて(20年度当初予算の概要など)

フリートーク 19:35

市の施策や議会への意見・要望などをお聴きします。

閉会あいさつ 副 班 長 21:00

はじめに

地方自治は、地方分権の伸展により自己決定と自己責任が増大する一方、大村市の財政状況は、非常に厳しさを増しております。この厳しい財政状況の中、市民のニーズに的確に responding していくためには、行政、議会、市民が一体となって協働のまちづくりを進めていく必要があります。

このため、本市議会では幅広く市民との意見交換の場を設けるべく、今年度から「市民と議会のつどい」を市内8地区で年2回実施することとしました。

◆「市民と議会のつどい」の実施方法

時 期 原則として3月及び9月定例議会終了後2ヶ月以内に開催

場 所 市内8地区(三浦、鈴田、大村、西大村、竹松、萱瀬、福重、松原)の住民センター、コミセンなど

実施方法 議員は、市民全体の代表者として6人編成の4班にわかれて、各地区を回ります。したがって、地元の議員が参加するとは限りませんのでご了解ください。

平成 20 年 3 月定例議会の概要

3月定例議会では、20年度の一般会計当初予算など24の予算や後期高齢者医療に関する条例など18の条例、そのほか副市長の選任についてなど市提出議案44件を可決、同意しました。また、議会提出の「道路整備財源の確保に関する意見書」など3議案を可決しました。

<20年度一般会計当初予算の概要>

総額321億9千万円（前年度比21億1千万円、7.0%増）

（歳出の性質別比較）

	金 額	前年度比増減	備 考
消費的経費 (人件費、扶助費、補助費など)	189 億 5200 万	10 億 4500 万増	後期高齢者医療費負担金、市民病院の公設民営化に伴う補助金の増など
投資的経費 (建設事業費)	31 億 3300 万	6 億 4100 万増	市営住宅(新駅前団地)建設、中心市街地再開発事業の増など
その他の経費 (公債費、繰出金など)	101 億 400 万	4 億 2300 万増	市民病院経営対策事業補助金の増など

（主要事業）

病院経営対策事業 (14 億 5 千万円)	市民病院の公設民営化に伴い、指定管理者が安定した病院経営を行うため、運転資金や医療機器更新などに必要な資金を貸し付けるもので、貸付期間は1年間です。 なお、この貸付金のほかに指定管理者には、救急医療などの政策的医療の提供に要する経費として、1億 6,470 万円の政策医療交付金が交付されます。
中心市街地再開発事業 (4 億 9480 万円)	上駅通り地区市街地再開発組合の行う商業施設と共同住宅の複合ビル建設に要する経費の一部について補助するもので、平成23年春の完成を予定しています。
公営住宅等整備事業 (7 億 5395 万円)	老朽化の著しい駅前団地を、水主町に建替える(新駅前団地～8階建62戸)もので、平成21年度に完成します。
学校施設等耐震化事業 (1 億 5220 万円)	児童・生徒の安全と、災害発生時の地域住民の応急的な避難場所を確保するため、校舎等の耐震化を順次進めていくもので、今年度は西大村中学校の耐震補強工事が行われます。

(新規事業抜粋)

◆パスポートセンター事業(278万円)

身近な市役所でパスポートの申請及び発給ができるようにするなど、市民の利便性の向上を図るために、市役所内にパスポートセンターを設置するための経費(人件費など)
※市役所(地域げんき課内)に4月より開設済み

◆大村市公共交通体系整備事業(1500万円)

既存バス路線の見直しなどや新たな公共交通システム導入について調査検討を行うための経費で、市は今年度中に調査検討を行い、平成21年度から新たな公共交通体系を再構築するものです。

◆地域づくり支援事業(400万円)

市が昨年度設置した市民プロジェクトチームの活動を支援したり、同プロジェクトが作成したプランに基づく事業について、その事業費の一部を助成する経費

◆ハザードマップ作成(810万円)

災害発生時の浸水想定区域や避難場所を示したハザードマップを作成し、市民の皆様へ配布します。

◆新幹線関連事業(320万円)

九州新幹線西九州ルート(武雄温泉～諫早間)が認可され、いよいよ着工に向け動き出すことになりました。今年度は、基礎調査のための経費が計上されています。

議会での審査経過

一般会計予算は、4つの常任委員会で審査を行い、原案を可決しましたが、経済文教委員会では、天正少年夢まつり開催事業予算600万円について、事業内容の精査と課題を整理するよう市に対し要望しました。

厚生委員会では、4月から実施されている後期高齢者医療制度について、高齢者に過度の負担とならないよう国に意見書を提出する議案が提案され、本会議でも可決されました。

また、総務委員会では、市の入札制度に係る地元業者の優先発注を求める陳情について審査を行い、市に対し同制度の改善を要望しました。

《議会活性化の取り組み》

現在、議会活性の取り組みを行っており、その一つとして今回の「市民と議会のつどい」を実施することとなりました。

現在、インターネット中継による議会放映について検討を行っており、早期の導入を目指しています。

また、今後、議会基本条例の制定や委員会制度のあり方などについて議会活性化特別委員会で検討していくこととしております。

市政あれこれ

＜市立保育所整備計画(案)について＞

市は、3月定例会最終日に、市内に4ヶ所ある市立保育所の整備計画(案)を次のとおり公表しました。議会としてもより充実した子育て支援策の一つとなるよう論議を行ってまいります。

竹松保育所 ～ 21年4月から民営化し、「幼稚園と保育園の連携型認定こども園」に移行します。

中央保育所 ～ 21年度から「子育て力向上支援型保育施設」として位置づけ、存続します。

三城保育所 ～ 21年度から「療育支援型保育施設」と位置づけ、存続します。

池田保育所 ～ 22年4月から民営化します。

(メモ欄)